

開 会 あ い さ つ

社団法人中国地方総合研究センター
常務理事 上原和孝

おはようございます。社団法人中国地方総合研究センターの上原です。「第17回研究集会」の開催にあたりまして、一言ごあいさつを述べさせていただきます。

本日は、プログラムにありますように、「シンクタンクセッション」と「討論会」の2部構成となっております。

第1部では、「地域再生とシンクタンク」というテーマで、中国・四国地方のシンクタンク関係者から10件の調査研究報告とディスカッションを行います。また、第2部におきましては、「地方都市の都心再生」というテーマでの討論会と、盛りだくさんの内容となっております。ただ、少し盛りだくさんとなり過ぎまして、第1部の研究報告が午前の部は2つの会場に分かれて行われることになりました。その点、ご了承をお願いいたします。

さて、近年、都市の再生が大きな社会問題となっており、国におきましても総力をあげて、都市再生への取り組みを進めております。また、地方におきましても、以前から中心商店街の空洞化など、中心市街地の衰退等が問題になっており、その一方で東京への一極集中がますます強まっている状況です。

このような状況の中、「地域再生」あるいは「地方都市の都心再生」という本日のテーマは、まさに時宜にかなったものであるといえるのではないのでしょうか。

本日は、長時間にわたりますが、折角の機会ですので、皆様の真摯な議論により本研究集会を実りあるものにしていただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

最後に、今回の研究集会開催にあたりまして、色々のご尽力いただきました広島大学地域経済システム研究センターの皆様方に、厚くお礼を申し上げます。

以上、簡単ではございますが、開会にあたりましてのごあいさつとさせていただきます。

来賓あいさつ

広島大学大学院社会科学研究科社会経済システム専攻
専攻長 富岡庄一

第17回研究集会の開催にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

ご承知のとおり、広島大学は2004年4月、国立大学法人となりました。同じ4月、大学院社会科学研究科の重点化に伴い、経済学部と法学部に所属していた教員は同研究科所属に改組されました。これにあわせて地域経済システム研究センターは、経済学部附属から社会科学研究科附属に移行しました。

広島大学大学院社会科学研究科には、社会経済システム、法政システム、国際社会論およびマネジメントという4つの専攻があります。地域経済システム研究センターは、これまで地域経済システムに関する研究実績を上げてきたことと思いますが、今後は社会経済システム専攻をはじめとする4つの専攻の横断的連携・協力によって、地域の課題により的確に対応していくことができるだろうと思います。また、そうしていかなくてもはならないだろうと思います。

本日の研究集会のプログラムを見ておきますと、「地域における人材育成」といった報告が予定されているようです。おりしも広島大学では東千田キャンパスの整備計画を検討することとしています。これに隣接する旧本部跡地の利用についても考慮しなくてはならないだろうと思われまます。地域の方々のご要望が強まれば、大学院の機能のかなりの部分を東千田キャンパスにシフトさせることも必要になってくるかもしれません。

この研究集会がそういった議論のきっかけになることを祈念いたしまして、簡単ではございますが、ごあいさつとさせていただきます。